

地域活動支援センター「なのはな」 高橋廣美さん(深谷)考案の愛称に決定!

10月にオープンした地域活動支援センターの愛称が「なのはな」に決定しました。公募した名称の候補から利用者の皆さんが選びました。センターは火・木曜日に開いていて、皆さんが笑顔で活動を楽しんでいます。



笑いが絶えない温かな雰囲気。愛称の看板を制作中。

問 飯館村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021

飯館村議会 議長・副議長を選出

10月13日の臨時議会において、前佐藤一郎議長、前高橋孝雄副議長が辞任。議員相互の投票により、新議長に高橋孝雄議員、新副議長に佐藤健太議員が選出されました。



佐藤健太副議長



高橋孝雄議長

問 飯館村議会事務局 ☎0244-42-1628

10月の村の動きと主なできごと

- 1日 住民懇談会(交流センター「ふれ愛館」)
- 1日 八木沢・芦原行政区農地中間管理事業説明会(八木沢芦原多目的集会所)
- 3日 福島圏域移住推進協議会 婚活バスツアー(川俣町/宿泊体験館きこり)
- 3日 飯館村地域活動支援センター開所式(サポーターセンターつなご) (つなご)
- 4日 飯館村文化祭実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 4日 生涯学習講座「お菓子なキャンダル作り教室(交流センター「ふれ愛館」)
- 4日 福島県立医科大学保健科学部実習(いちばん館)
- 5日 稲刈り体験(飯桶地区)
- 6日 令和5年度飯館村表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 6日 岩田和親原子力災害現地対策本部長(経済産業副大臣) 来庁(村役場)
- 7日 令和5年度飯館村表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 7日 住民懇談会(福島市・福島県青少年会館/交流センター「ふれ愛館」)
- 9日 軟式テニス教室(交流センター「ふれ愛館」)
- 9日 半田山自然公園ウォーキング交流会(雨天中止)
- 11日 福島県立医科大学保健科学部 実習(交流センター「ふれ愛館」)
- 12日 飯館村防犯指導隊 防犯キャンペーン(交流センター「ふれ愛館」)
- 13日 飯館村議会第7回臨時会(議場)
- 14日 住民懇談会(南相馬市・サンライフ南相馬)
- 14日 第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会 対塙町戦(相馬市・相馬光陽ソフトボール場)
- 15日 飯館村消防団 秋季検閲式(交流センター「ふれ愛館」)
- 15日 長泥地区植樹祭(長泥地区)
- 17日 関沢地区農地中間管理事業調印式(関沢ふれあいハウス)
- 18日 大久保・外内地区農地中間管理事業調印式(大久保・外内集会所)
- 19日 飯館産黒毛和牛精肉販売会(交流センター「ふれ愛館」)
- 19日 飯館産黒毛和牛精肉販売会(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日 農業委員会定例会(村役場)
- 21日 新型コロナウイルスワクチン集団接種(いちばん館)
- 22日 第40回交流センター「ふれ愛館」
- 22日 交流センター「ふれ愛館」
- 25日 第6回福祉チャリティー祭り(交流センター「ふれ愛館」)
- 25日 定例教育委員会(村役場)
- 27日 乳幼児健診(いちばん館)
- 28日 交流センター「ふれ愛館」
- 28日 交流センター「ふれ愛館」
- 29日 交流センター「ふれ愛館」
- 30日 交流センター「ふれ愛館」

ふくしま駅伝 飯館村チームを応援しよう!

ふるさとのタスキをつなぐ選手の走りに大きな声援を送りましょう!

『ふくしま駅伝』(第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)が11月19日に開催されます。飯館村チームは、今年も単独チームでの出場を目指し、佐藤彰洋監督(二枚橋・須萱)のもとチームづくりを行っています。火・金曜日には、いたてスポーツ公園でチーム練習を行い、一人ひとりが走力を上げるために努力を重ねています。いたて希望の里学園の生徒、先生方も一丸となって取り組んでいます。



部活動の時間や退勤後に練習を続けています。

第35回 ふくしま駅伝
(市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)

11月19日(日)午前7時40分スタート!

しらかわカタルスポーツパーク(白河市総合運動公園)陸上競技場を午前7時40分にスタートし、16区間でタスキをつなぎ、福島県庁前のゴールを目指します。総延長95.0km。ふるさとの声援を胸に、選手が晩秋の福島路を駆け抜けます。

長泥復興組合が「第2回長泥植樹祭」を開催しました



15日は予報通りの雨に。前日にも作業をした地区の皆さんが雨でも植樹ができるよう準備をしていました。



地区の皆さん、ボランティア参加の皆さん、長泥で事業を行う関連機関や企業の方、学生などが交流。

長泥に想いを寄せて

10月14日と15日の2日間にわたり、長泥復興組合が『第2回長泥植樹祭』(鳴原清三実行委員長)を開催。今年5月に開所した「長泥コミュニティセンター」の周辺にサルスベリとシダレザクラの苗木、90本を植樹しました。

15日には、多数のボランティアが集い、植樹の後に交流会も開かれました。震災当時から地区と交流する外部の方や他の行政区の村民、福島大学・慶應大学・青森大学などの学生、長泥で事業を行う環境省やイタテバイオテック株式会社の職員などが一堂に。それぞれが長泥との関わりを語る場面もあり、互いに耳を傾け、長泥への想いを分かち合いました。



福島大学大黒ゼミの学生が『村民食堂』を特別開催。地区の皆さんと同じ想いでおもてなしをしようと豚汁やおこわなどの昼食やデザートを用意しました。